袈裟堂の登山道

古の廃道が復活！ 蘇ったハイキングコース

豪雨災害後の坂本町の災害復興では、市民ボランティアの活躍が大いに注目を集めました。その一つが坂本町災害支援チーム「ドラゴントレイル」（通称：チームドラゴン）です。代表の吉田晴祐さん（44才）は、2019年から坂本町を舞台にしたトレイルランの大会（やっちろドラゴントレイル）を主催しており、大会運営にあたり、袈裟堂集落にある廃道の整備を進めてきました。そこで目の当たりにしたのが、鹿の食害。近年、急速に増加した鹿が草木を食べつくすことにより、保水力のない森が増え、豊かな森の生態系が失われつつあるというのです。

「トレイルランで森の中を走る楽しみと同時に、ぜひ環境問題にも目を向けてほしい」と話す吉田さん。

袈裟堂集落から妙見上宮までのルートは、ハイキングコースとしても楽しめるようにと、仲間らと共に鹿除けの防護柵の設置や、木を運び階段を設置するなど整備を進めたおかげで、ハイカーたちの姿が増えてきたそうです。「坂本の山の中にいると、空気は美味しいし、自然の懐に包まれるような安心感があります」。蘇った山歩きスポットへぜひお出かけください。8月11日には、「やっちろドラゴントレイル2022」も開催決定！

（エントリー受付は7月11日まで。詳細は大会ホームページを要チェック）

〈写真上〉豊かな森を取り戻そうと、袈裟堂集落からの登山道を整備してきた「チームドラゴン」のメンバー。豪雨災害後の坂本の支援でも大活躍　〈写真下〉鹿除けの防護柵の設置が、森の再生に役立つことを願いが。これが災害防止にもつながる

スポット情報

◉ハイキングコース

八代市坂本町「袈裟堂公民館」近く、橋のところに「袈裟堂登山道入り口」の看板あり～妙見上宮跡まで片道2㎞ほど。

※ハイキングコースを歩く際は、登山に適した格好と靴、水分などをご準備ください。

木々子の七夕綱

全国でも珍しい七夕行事 住民一丸となり大切に継承

中谷川が流れるのどかな山間にある、木々子集落。ここでは、全国的にも珍しい七夕行事【七夕綱（たなばたづな）】に選択無形民俗文化財がが大切に継承されています。

祭りが実施されるのは、旧暦の七夕（8月7日）の前日、8月6日。公民館やお堂に住民たちが集まり、祭りに欠かせない稲ワラ製の網や愛らしい人形たちを手作りした後、天の川に見立てた川の上に人形が吊り下がった網をかけ、8月末まで飾られます。

「七夕綱には、彦星様と織姫様が無事に出会えますようにとの願いを込めるほか、お盆を迎える時期でもあり、ご先祖を無事にお迎えするために、悪霊や疾病退散の意味合いもあるんです」と保存会の久保田会長。昭和40年代頃まで坂本や芦北の30の地区でセタ綱の行事が行われていたそうですが、現在八代では木々子のみ。高齢化が進む地区では、今後の文化継承の目的から、祭りは地区住民以外も自由に見学でき、一緒にワラ人形作りに参加することもできるのでぜひ！

同集落では、七夕綱以外にも十三夜の綱引きや山の神祭りや川の祭りなど昔からの伝統あるお祭りが残っています。住民が仲良く暮らしながら、祭事を大切に守り継ぐこの地で、貴重な文化に触れてみてください。

〈写真上〉取材の際、集まってくれた皆さん。一致団結して、様々な祭りごとを守り継いでいる　〈写真下〉七夕綱に下がるワラ人形は、題材は基本的に「自由」。中には昔からの定番の卵（13個で「（疾病などを）通さん」という意味）や草履、縁起物の亀などがある

写真提供／八代市民俗文化財保存連合会

スポット情報

◉木々子地区の七夕綱

開催日／8月6日（土）8時～11時頃予定
※雨天決行 ※七夕綱は8月末に撤去予定
場所／八代市坂本町木々子地区「木々子公民館」前
問／八代市文化課　☎0965-33-4533

日光の棚田

美しい棚田を残したい 移住後、米作りに奮闘

標高400メートルほどの山の斜面に大小200の田んぼが集まってできた『日光の棚田』。棚田百選にも選ばれているこの地に、6年前に広島から移住し、現在稲作に取り組んでいるのが野口修さん（84才）です。

小学校から高校までを坂本で暮らし、ふるさとの風景が忘れられず、定年退職後に移住。農家をする予定はなかったそうですが、ひょんなことから趣味の山歩きの最中に日光の田植えの時期に絶景を見て感動。しかし、限界集落となった地区では、米作りをする農家がなくなりかけている現状を知り一念発起したのだそう。「棚田の景観を保ちたいという気持ちが芽生えて、米作りを教わることになりました」。斜面に作られた棚田は、あぜ道も狭く、もちろんトラクターなどは使えないため、農作業のほどんどが手作業。6月頭に行なわれた今年の田植えの際には、ボランティアの手を借りて、9枚の田んぼに無事、稲の苗を植えることができたそうです。

休耕田も増えているという日光棚田の未来を考えると、「みんなで楽しめる棚田づくりが目標」と話す野口さん。先人たちが築き、続いてきた田畑と、この美しい環境に一人でも多くの人が関心を寄せ、棚田と石垣の保全が続いていくことを願ってやみません。

〈写真上〉棚田の作業は、大型の機械が使えないためほとんどが手作業。6／9に行なわれた田植えも、ボランティア参加のもと手植えで実施された　〈写真下〉野口さんが育てた棚田米は販売はせず、地域の小学校の給食や施設などに寄付をしているそうだ

スポット情報

◉日光（にちこう）の棚田

場所／八代市坂本町鮎帰

※棚田の入り口には手作りの看板が出ています。専用駐車場はなし。棚田への立ち入りは自由ですが、田んぼは農家さんの私有地のため、荒らさないようご配慮ください。

さかもと八竜天文台

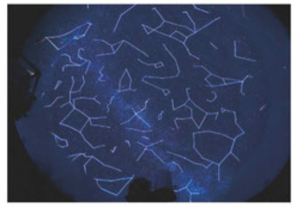
天体観測で宇宙を探検 BBQや宿泊体験も◎

自然豊かな八竜山自然公園内にある『さかもと八竜天文台』で、宇宙に浮かぶ天体や星々を眺めて宇宙の不思議を体感し、心躍るひと時を過ごしませんか。国道219号から案内板に従って標高約500メートルまで標高抜群の天文台へと到着。ここは天体観測はもちろん、コテージなどの宿泊体験、バーベキュー利用のみも可能な施設で、非日常を味わうのにもってこいです。

令和2年の豪雨災害時は、建物の損壊こそなかったものの水や電気が止まり、周辺の道路は土砂崩れなどで不通に。1年4ヶ月もの間休業を余儀なくされ、去年の11月からようやく再開しました。休みの間は模様替えやプラネタリウムのリニューアル、スタッフも2名増員するなど、魅力的な施設へとパワーアップ！

「山の上にあるので登って来るまでは大変ですが、とても充実した施設です。国内の公開天文台では最大級となる屈折式望遠鏡もあるので、気軽に遊びに来てください」と福葉台長。

展望テラスに出ると360度の眺望は見事。職員の生解説付きプラネタリウムは、寝転がって楽しめるアットホーム感が魅力です。7月～8月には夏休みの自由研究向けのイベント（立体星座200円）も計画されていますよ。坂本の山頂から宇宙探検へ出かけてみませんか。



〈写真上〉学芸員による生の解説が話題のプラネタリウムのドームは、なんと職員によるお手製だそう。休館中に天井幅が拡大したので要チェック！　〈写真下〉天文台前にある八竜山自然公園の中には宿泊用のロッジとコテージがあり、器具をレンタルしてBBQも楽しめる

スポット情報

◉さかもと八竜天文台　☎0965-45-3453

所／八代市坂本町中谷は335-2
時間／13:00～21:00（最終受付20:30）
※現在、営業時間短縮中
休／火・水曜（夏休み期間は火曜のみ）、年末年始
入館料／大人：310円、小学生～高校生：150円
未就学児：無料
※宿泊料やBBQ料は施設へお尋ねください。

坂本グルメ巡り

食処さかもと鮎やな

「鮎やな」で町の賑わいを取り戻したい

鮎づくし定食3,300円（税込）。塩焼き、甘露煮、からあげ、田楽の4種の鮎料理が味わえます

鮎の塩焼き660円（税込）。炭火でじっくり焼いた鮎は皮がパリッ、身はふわふわ！

平成29年に営業スタートした同店は、坂本住民の皆さんで運営される手作り感満載の鮎料理専門店。新型コロナの影響と令和2年の豪雨災害により、店の存続を諦め閉店を考える中、「さかもと復興商店街」に入居し、お店の再開が決まりました。天然もの養殖も球磨川で獲れた卵から孵化した鮎。地元のお母さん達の手作りでいただく鮎料理は絶品です。

所／八代市坂本町荒瀬1239-1（さかもと復興商店街内）
☎0965-45-2677　営業時間／土日祝11時～15時（LO営業終了30分前）※お盆［8/10～15］は毎日営業　★11/6（日）まで営業

道の駅坂本 さかもと館

人気の晩白柚ソフトが「マキシト」とコラボで新登場！

「大人の晩白柚ソフト」が新発売！八代ではすっかり定番となった晩白柚ペースト、マキシトがトッピングすることで、晩白柚本来の香味と苦みが旨さを引き立てています。

道の駅坂本 駅長 酒野真人さん

大人の晩白柚ソフト 420円（税込）

所／八代市坂本町荒瀬1239-1
☎0965-45-2141　営業時間／10時～18時　休／なし

球磨川温泉 鶴之湯旅館

山菜料理と天然鮎。1泊2食付で最高のロケーションを楽しむ

球磨川を眼下に望む木造3階建て。川側は、全面ガラス窓で眺めが抜群。被災し解体された建物の建材が旅館の一部となり見事に再生した旅館へ、この夏こそ足を運んでみませんか？

オーナー 土山大典さん

宿泊は1泊2食付きで14,900円（お一人様）。厳選された食材が魅力

◀HP

所／八代市坂本町荒瀬1007-2　☎0965-45-8050

お持ち帰り専門店 わじま

豪雨災害を乗り越えて、お弁当専門店として1周年

白身魚フライの卵とじ弁当 500円（税込）

ホルモン弁当 500円（税込）

代表の福嶋康治さん（左）と妻の亜美さん

国道219号線沿いの、坂本町の台所として長年親しまれてきたレストラン和鳴さんは、豪雨災害により全壊。周囲の方から早く再開してほしいとの要望も多く、店舗の向かい側で昨年6月にお弁当専門店としてオープンしました。お母様から引き継いだ2代目の福嶋さんは娘さんと二人で、手作り感溢れるリーズナブルなお弁当を提供しています。

所／八代市坂本町荒瀬5739
☎090-8665-8813　営業時間／6時半～15時　休／水・日曜　★1周年記念の期間限定クーポンでお得に！※店頭で配布中（7/10まで）